



樟虫録  
矢島忠琢編

洋学文庫  
文庫8  
A 192





29  
112  
265

昭和十五年八月廿一日出版

大槻文庫

新

作漢 矢島忠琢著

樟島録



樟蟲錄

信濃 矢島忠琢著

昭和十五年八月十一日改裝

大槻文庫







樟蟲録

信濃

矢島忠琢

樟蟲

漳州府志  
物理

虫綿  
漳州府志

吐綿  
留青  
日札

シラガダウ州

シオンタウ州

クリゲ州

シロゲ後

ヒゲク州

ゲンジキ州

カウシク州

イマヘ豊後

ワリ野

トキ上

カシ上

ヤマノカ上

信州越後野州等州奥州等、多し裡俗ノキ号虫ニテ上代ヨリ名製等ノ  
試験ニタル諸説ニ謂フ頃ニ政年中奥州會津ニ製造名織出ニタレ  
多今他ノ諸邦不見撃テ能明治五年信濃高井郡須原里山本某者ニテ  
製造ニテ



從皇國 博覽會生絲織物天蠶糸出品

諸木ニ生スル毛裁虫ニテ栗樹ニ生ル

毛裁ヲ栗蠶虫トハ自別大木樹ニ生

若木ニ少シ又蝶ト化シ栗木肌ニ卵ヲ

産シ狀大 鮫皮蚶蟲粒ト又ホウキタ

子ニモ似テ里 襦色ヲ鼠色ニ染リ大粒並

ニ日ニ生育ニ從ヘ頭頭ノ処ヲ破裂シ漸

ク旧皮ヲ脱出スルハ十八夜頃至リ

此多頭ニ暫ク旧葉ニ止テ屈曲屈伸並雙動搖長スルニ從テ旧皮ヲ脱スル如蚕玉

三四度ニ及ヘリ又虫ニ大野 蚕蝎等ニ同シ全身淡沈白毛茸ヲ生ス

餌葉

栗葉野胡柳葉 柿葉野漆葉 膚木葉 外檮葉 桃葉等也 九州邊ニハ釣栗葉 櫻木葉 樟葉也

追長ニ從テ栗葉ヲ食シシ他木ニ移ラシムルニハ數ニ由リ騰降スル遠シキヲ詭ム

シハ麗鮮別テ栗白毛花ニ并ニ多シ

菓ヲ作ル迄ニ日數六七十日ヲ食ヘシ最季候寒暖早遲ニ由ルニ

被害 大凡雨早寒 雷延 炎熱 雹 天災

蟲害

鳥飽 鳴子 蠶等 火ヲ以テ美 小枝巢中屈曲切捨 紈人馬足踏殺サル

無害

鳥 猫鳥 オナカ カケス 小鳥 妻 蝦蟇 狐 蛇 屬等也

菓作ル前検査咽喉ノウヲヨリ尻 脊迄透明ナル程ヲ菓ヲ嚙ルニ近シ

又菓ヲ作ラントスルハ 齧齒 繭トハ大ニ異ニ何レナリ長自由自在ニ這巡リ頭ヲ天空ニ屈伸

諸樹枝 限又又菓屋簷下ノ袋透網等ニ散乱屈曲止居テ造ルニ菓ノ狀ヲ細

自絲瓜殼 彷彿タリ又菓中ニ土蟬アリ足ナクニ兩目アリ 蝮蟬ノ狀ニシテ赤褐色

動搖セズ是ヲ野州ニテハ戲玩ノ 西ハトテ菓ハドウケト 呼テ童子 戲トス 不男武

葛西領主人ニテモワリ一談ニ自別ニモトクニ 國俗ノ方言 誤リナシ

菓中蟬ハ十三日間動搖セズ又テ七日後テ動搖スルハ一方ヲ穿テ破リテ羽ヲ生シ





蝶化し良えはトノ羽ヲルハ  
終ニ飛走ス

蝶ノ大サ鳳蝶ニ異トス又羽縁

淡黒圓ノ紋脈アリ羽色淡茶福

ニ雄瘦雌ハ肥腹ノ状ナク

異トス兩眼眉毛如兒

一名蛾眉蝶 游梅

裏殻ハ糸製ニシテ又新中旧混茶ニ交セ五色州汁浸シ柔ラカニナリ迄オキ梅リ

出シ摘ミホシ錦トス新草綿中草綿限ヌ方丈セ后ニ綿筒トシテ幼車

ニテ牽出し糸トス

生絲製造 一名栗虫糸 會津



新巢ヲ撰ミ採リテ鍋ニ五色州灰汁控木ノ灰汁等分入テ煮ニ九迄煮婦女ノ  
切者ヲ撰ミ兩手ヲ以テ綿線糸ヲ牽紳ス  
如クシテ牽キテ繰ヲ掛ケ、出車牽キテ  
扱フトハ異ニ

上等ノ糸ハ光泥アツ佳トス

中巢糸ハ粘リ少シ光泥モ少シ中等トス

下巢一名旧巢 雪霜雨露晒シ  
粘リナク

新中旧巢混茶ニ採リ交セ如前糸ヨク、柔和煮テ摘ミホシ草綿、方丈綿筒  
トシ幼車ニテ牽キ出し糸トス

織方法 縦絲横絲凡 並糸ヨク太々牽紳セ又ニ婦女伊者トス



分ムニオリ 奥州 會津 一名載虫織  
信州 越後



新算計リテ採リ撰ニ五色州灰汁又炭汁等如前条テ牽伸ニ縦糸ヲ  
 横糸ヨリ 細太ニ其好ニ任テ機械平常其手業即昔撰ニ織スニ  
 糊仕法 煙絲等ハ口授アリ

夏服等ニ極最上品トス  
 西洋

天麩絲 和洋 テラス

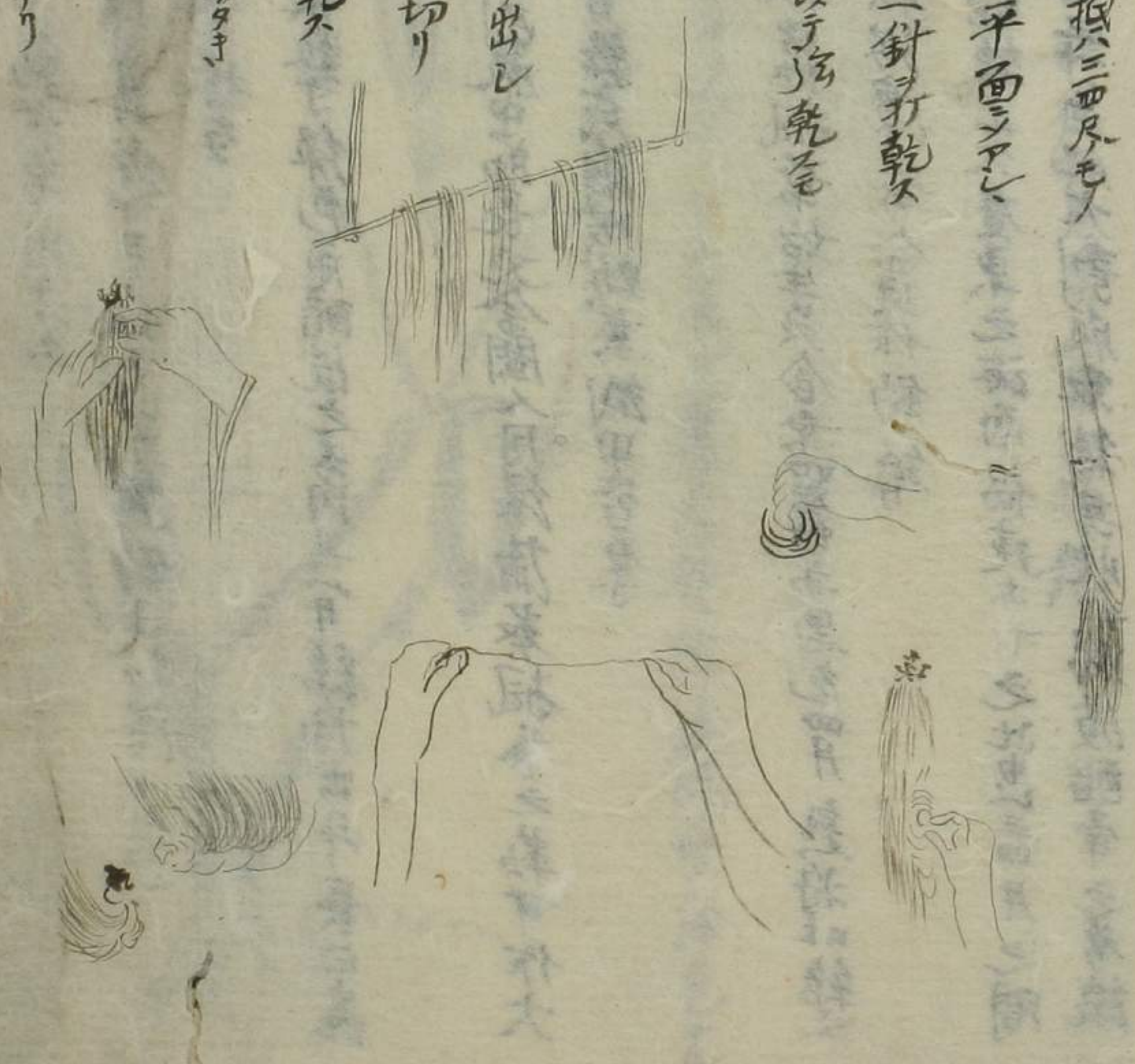
前条蟲肥ノ者寄出シ頭頭ヲ咽喉邊透明タルニ撰ニ採リ取テ井中醋ヲ入虫蛇ヲ  
 暫間漬置採リ出シテ腸天ヨリ肉切缺  
 シ以テ堅ニ腹中ノ蟲近缺ニ下ク如腸  
 白條ニ頭シアル即チテクニ腸黒色ヲ  
 帶白條ヲ手ニテツト細ヲ掛ルニ口持テ牽



伸ス尤モ尺程ニ伸ビルニ大抵三四尺モ  
 多シ又繰ラ掛テ牽伸スニ平面ニシテ  
 又牽伸シテ細板載セ兩方ニ針ヲ打乾ス  
 之ヨリ又半月状ニ竹ヲ以テ法乾ス  
 ソル四ニアルヲ上等トス

又法

井中醋ヲ入生虫ヲ漬ケ採リ出シ  
 頭頭ノ邊ヨリ兩手ヲ以テ摘ニ切り  
 如腸白條ニ採リ牽伸シ風乾ス  
 又八五地在ニテ製糸花五ニテ事ヲ  
 及ス  
 糸ノ強キヲ知ニスルニハ傳アリ





風乾之牽紳之丸マニテ釣士多用ラズ

一説ニ誤リテ蜘蛛ノ絲障リ其邊ヨリ切レテナリ魚釣士心得ル也  
又云 鯨魚白條糸アリ厄ニ不穩也

漳州府志曰樟蟲如指大長數寸綠色用醋洗之去肉其有絲抽出斗長曰蟲  
絲用以較于釣

物理十識曰樟蟲入醋死別版中即長丸金闔人用綠蒲葵楓香之勒可作大  
釣繩凡樹蟲如蠶者皆有絲成繭成蛾蠶則甲皆厚

楓蠶 廣東 楓蠶絲

留青曰北曰廣西梧州有楓蠶楓蠶始生食葉如蠶亦黑色四月熟將吐絲土  
人斝取其絲光明如琴弦海濱蠻人買作釣繩

清人應曰天蠶多也一名虫絲止大廣東之海南福建亦有之此虫三月之間  
產楓樹至六月而熟長大二三寸至肥大割版取絲其狀如腸漬醋牽之考線

風乾為釣絲之本邦之俗謂德孤思蠶人事作釣繩

棘繭一種 ウスタヒ 薩州方言

山野樺棹落樹雜木中ニ生ヌカラタケムニ屬シテ枝ニ稀ニ花瓶如綠色丸

繭袋ヲ枝ニ鉤掛リテ見テ  
土俗採リ取テ重テテ戲玩トヤセム

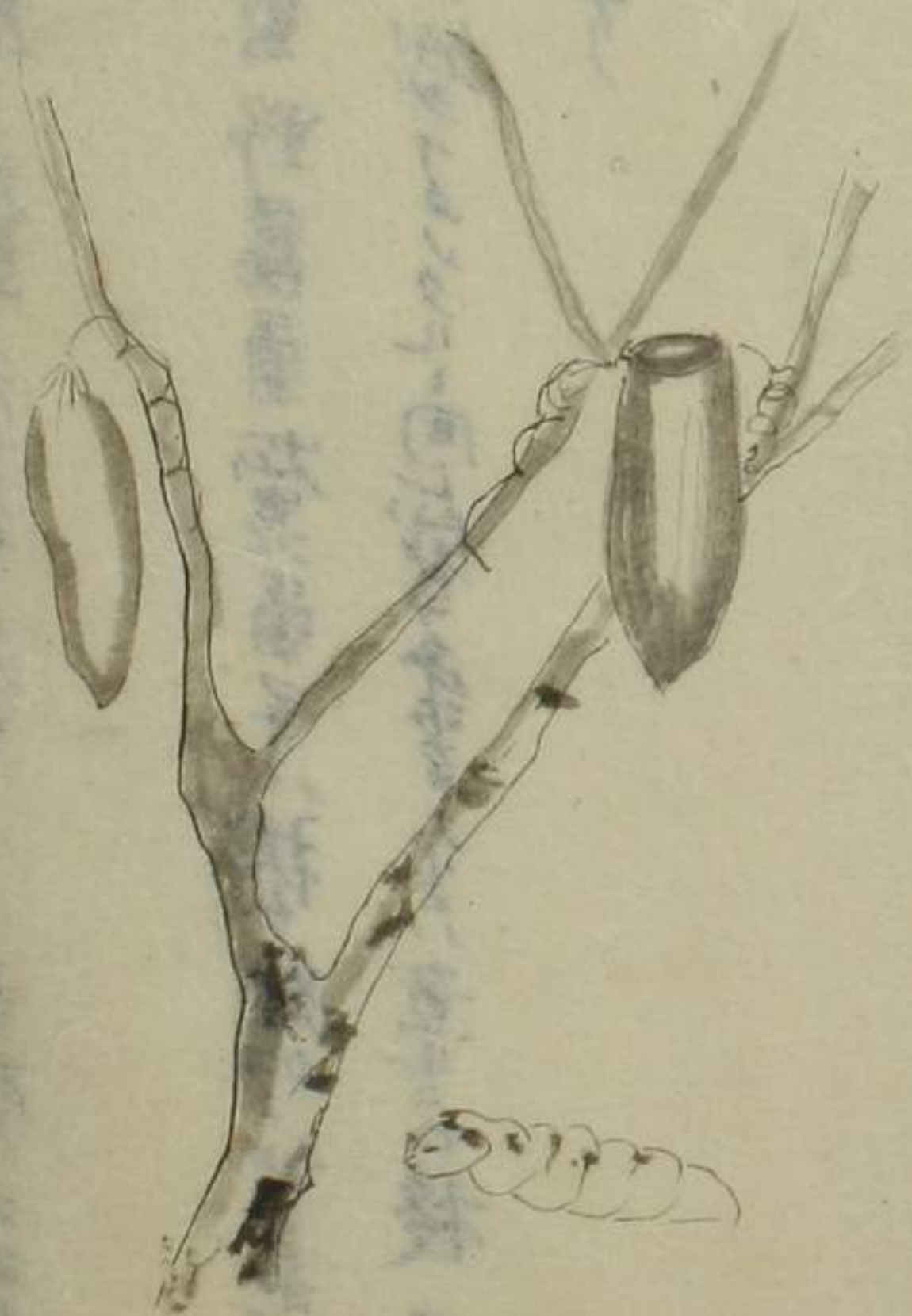
上代ヨリ諸説紛々製多ク用ラ

俗ステヲ謂フ虫ノ生テ月ハ新曆ノ四

五月ニ至ル卵狀ハ蚌虫狀ナリ

日ニ重カ長クニ從テ虫大ナリ野蠶

同シ全身青黃色也ニ黒点ヲ顯ス





別テ頭邊ニ多シ天庭ニ兩角ノ状ナ其處ヲ指頭ノ先ニテタケハキツト発聲ス又毛  
虫ハケリト謂フコト

又爾袋ノ下ニ穴穿チテ糞尿又糞虫野蠶繭松葉繭等ハ枕ノ雞卵如シ是ハ  
片ノメオヨリ出入這出四ノ爾袋堅ク織タイタルト同シ袋ヲ手書スルハ蠶ルニ口授  
アリ野蠶繭又樟虫果者反汁ハ異ナリ

蛹蝶ノ状ナ詳ナラス

家飼 取テ養方ハ野蠶ニ異ナラス

糸製繭袋 野蠶 樟虫果等ノ製ハ別ニ

繭袋者糸ヲ如前糸 錦線糸ヲ引伸シ縷ヲ掛ニ取扱フヲ多ク

第一琴匠糸 三味線糸 最上

近年ハ登繭糸又野蠶糸等ニ製スルナシ

樟蟲錄



